

クボタケミックス排水集合管を安全にご使用いただくために

■本製品ご使用前に必ずお読みください。

■ご使用に当たっては、必ず最新の「クボタケミックス排水集合管技術マニュアル」をご参照ください。

●お守りください。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



行ってはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

◆設計上のご注意

- ⚠️ 排水管路の設計にあたっては、最新のSHASE-S206定常流量法により負荷流量を算出したうえで、それ以上の許容流量または排水能力となるよう、排水管径、勾配、及び排水集合管システムを選定してください。なお、SHASE-S218によって求められる排水集合管システムの排水能力は、立て管規模によって変化しますのでご注意ください。
- ① 本書に記載の各集合管システムの排水能力は、クボタケミックス排水集合管と専用脚部継手Lバンドの組み合わせによるものです。これ以外の組み合わせでは排水能力が低下する場合があります。クボタケミックス排水集合管を使用する排水立て管基部の脚部継手には、クボタケミックスLバンドをご使用ください。
- ⚠️ 排水管路の途中に曲がりや合流等の変形配管がある場合や、排水立て管の途中に排水集合管を設置しない階がある場合、あるいは洗剤排水が混入する場合には、排水管内の圧力変動が大きくなって、排水性能が低下する場合があります。クボタケミックス排水集合管技術マニュアルをご参照の上、適切な対策を施してください。
- ① 排水集合管システムの排水横主管径は、排水立て管径に対して1サイズ以上拡張してください。
- ⚠️ 排水立て管の伸頂通気管は、立て管径と同径以上にて配管し、大気解放してください。伸頂通気管が長い場合やヘッダー通気管となる場合には、サイズアップが必要となる場合があります。弊社営業部までお問い合わせください。
- ① クボタケミックス排水集合管・差込み形RJ管・カンペイ立て管は立て管専用です。横管では使用しないでください。
- ① クボタケミックス排水集合管システムの立て管には、管内面にラセン状リブを設けた管を使用しないでください。
- ① クボタケミックス排水集合管・鋳鉄管・クボタカシリーズは屋内隠れい部でご使用ください。屋外または屋内露出配管にて使用する場合、紫外線の影響や支持方法などに注意が必要です。弊社営業部までお問い合わせください。
- ⚠️ クボタケミックス排水集合管に接続される便器のタイプや便器枝管の形態によっては、集合管内に流入した汚水排水の一部が、同じ集合管に接続された他の枝管内に僅かに流入する場合があります。
- ⚠️ 1枝タイプの集合管は、製造上の理由により、枝が出ている以外の3方向が丸くなっているものと、1方向のみが丸くなっているものが混在する場合があります。性能・品質に関して問題なくご使用いただけますので、何卒ご了承いただけますようお願い申し上げます。

◆取扱い・施工上のご注意

- ⚠️ クボタケミックス排水集合管・鋳鉄管は鋳鉄製です。過度の衝撃を与えたり、高所から落下させた場合、破損する恐れがあります。取り扱いには注意してください。
- ⚠️ クボタケミックス排水集合管・鋳鉄管は重量物ですので、足の上に落としたりしないように注意してお取り扱いください。また、製品重量が20kgを超えるもの(4SLII、4SLTII、4SLTGII、4SF、5HF、RJ・メカ直管など)については、必ず2人以上で持ち運びしてください。
- ⚠️ 挿入する管を切断、面取りする際には、必ず管を固定してください。また、切り粉が目に入らないよう、必ず防塵メガネを着用してください。
- ① 満水試験などの際には、水圧や空気圧により、排水横枝管や栓が飛び出す恐れがあります。支持金具などで固定したうえで、十分に注意して試験を行ってください。試験の際の圧力は、0.1MPa(1.0kgf/cm²)以下としてください。
- ⚠️ クボタケミックス排水集合管・鋳鉄管・クボタカシリーズを施工する際には、施工手順を確認のうえ、それぞれの接合部に適した管または継手を用いて施工してください。
- ① 装着済みのフタタッチゴム輪は抜き取らないでください。再装着した場合、漏水の危険があります。
- ① 集合管下部Wスタイルのクイックメカや、SF形集合管の上下管・リレー管、カンペイ君、シンボカットなどは、あらかじめセットした状態で出荷いたします。出荷後の取り外し、組み替え等は行わないでください。
- ① 接続する管は、軸線と切断面が直角になるように切断し、面取りを実施した上で使用してください。面取りが不足していると、ゴム輪を傷つけて漏水を引き起こしたり、物が引っかかって詰まりの原因となることがあります。
- ① 挿入する管の外面やゴム輪内面に埃、砂、油、水分が付着したまま接合しないでください。漏水の原因になったり、挿入した管の抜け出し抵抗力が低下する場合があります。
- ① 排水横主管・排水横枝管は、適正な勾配を確保して配管し、必要に応じて支持金具で固定してください。
- ① ボルト・ナットは必ず指定のものを使用し、適正トルクで均等に締め付けてください。指定外の取り付けを行った場合、破損や漏水の可能性があります。
- ① 接合する管の挿入寸法は、マーキングで確認のうえ、必要があれば抜け出さないよう支持金具で固定してください。挿入不足の場合、漏水するおそれがあります。
- ① 横主管はピット配管を推奨いたします。埋め戻し配管をする場合には、地盤沈下等に対応できる確実な支持を取ってください。埋め戻し配管において、地盤沈下による垂れ下がりのため、下層階でトラップ封水の跳ね出しトラブルを生じる場合があります。
- ⚠️ クボタケミックス排水用鋳鉄管に施している塗装は、一次防錆を目的としたものです。表面の一部に錆を生じる場合がありますが、鋳鉄そのものの防食特性には変化はありません。
- ① 製品は平坦な場所に置き、過度な重ね置きはしないでください。偏荷重がかかった場合に破損するおそれがあります。
- ① 製品の保管は、高温、多湿、直射日光、火気の近く、砂・埃の多いところを避けてください。塗膜やゴム輪が劣化する可能性があります。
- ① 施工中の管は適切に養生し、中に異物を入れないよう注意してください。配管の詰まりの原因となることがあります。

◆使用上のご注意

- ① クボタケミックス排水集合管・鋳鉄管は、生活排水専用です。生活排水以外のものを流すと、管の内面が腐食したり、詰まりや漏水が起こるおそれがあります。また、異常に泡立ちの多い排水(高濃度の洗剤排水など)を流さないでください。下層階でトラップ封水の跳ね出しトラブルを生じる場合があります。
- ⚠️ 長期間排水器具を使用しない場合、封水が蒸発する場合があります。封水の点検・補充、蒸発防止などの対策をとってください。
- ① 排水管は建築物内で人間が生活していく中で必要不可欠な大切な機能部材です。未永く安全快適にご使用いただくためには、管洗浄や保守点検を定期的に行ってください。特に台所系統の排水管は油脂分等の付着が激しいため、必ず管洗浄を行うようにしてください。
- ① 長期間使用した後の接合部のゴムパッキンは、再接続の際に取り替えてください。ゴムパッキンが接着されている場合の取り換え方法については、弊社営業部までお問い合わせください。